

図書館学課程と文芸科

菅原春雄

はじめに

編集担当から、何でもいいから原稿をといわれても「文芸論叢」は学生の論文と先生の論文ないしエッセイを収録した伝統ある学術誌に何が書けるか。私は「図書館情報学」が専門、外に何か書けるか思案の結果、専門資料論担当経験から文芸科の学生に必要な最低の文学に関する基本的文献を理解しておく必要があるので文献リストの紹介に止めようと思っていたら、タイトルのような提案があり、文芸科名称も99年度で終り、来年より「現代文化学科」に改称するので文芸科と図書館学課程での思い出を書くことにした。

図書館学課程のはじまり

昭和38年度より文芸科の資格課程として司書教諭からスタートした。担当者は専任はなく深川恒喜「東京学芸大学教授」・北島武彦「東京学芸大学教授」・服部金太郎「図書館短期大学教授」の各非常勤であった。

科目は図書館学14単位

図書館学24単位

科目内容は

学校図書館通論	1
学校図書館の管理と運用	1
図書を選択	1
図書の整理	2
図書以外の資料の利用	1
児童生徒の読書活動	1
学校図書館の利用指導	1

昭和46年ごろ文芸科内（原・増淵等先生）で司書も同時に開講してはとの話題から結論のもとに学長（金子先生）、理事長に要請し、その間司書・司書教諭のカリキュラム書類作成に菅原・高部「中高事務局長」等が当たり、教授会決議、文部省へ申請認可で昭和47年4月よりスタートし菅原も図書館勤務傍ら非常勤講師として図書分類法、図書目録法のそれぞれの演習を担当した。主任教授として、昭和47年、北島武彦「図書館短期大学―東京学芸大学教授」の紹介により国立国会図書館司書監石黒宗吉氏を図書館学教授に迎え司書・司書教諭同時開講した。

科目

1 昭和43年改訂 図書館法施行規則改訂

科目 必修科目

科目 必修科目

図書館通論 2

生涯学習論 1

図書館資料論 2

図書館概論 2

参考業務 2

図書館資料論 2

参考業務演習 1

図書館経営論 1

資料目録法 2

図書館サービスマニヤ 2

資料目録法演習 1

情報サービスマニヤ概説 2

資料分類法 2

レファレンスマニヤ演習 1

資料分類法演習 1

情報検索演習 1

図書館活動 2

専門資料論 1

選択科目

情報管理 1

資料組織概説 2

資料整理法特論 1

資料組織演習 2

図書館の施設と整備 1

児童サービスマニヤ 1

図書及び図書館史 1

選択科目 1

青少年の読書と資料 1

図書及び図書館史 1

視聴覚教育 1

資料特論 1

マスコミュニケーション 1

コミュニケーション論 1

自然科学と技術の書誌解題 1

情報機器論 1

人文科学及び社会科学の書誌解題 1

図書館特論 1

社会調査 1

平成11年司書教諭科目の改訂が行われ、従

社会教育 1

来司書の科目(司書教諭科目分+学校図書館

1

通論1単位と学校図書館の利用指導1単位取

2

得をすればよかったが、今回の改正の司書教

平成9年司書科目改訂 図書館法施行規

論独自の科目5科目10単位で司書の科目の読

み替えができなくなった。

3 平成10年3月 学校図書館司書教諭講習

規程 改訂

科目5科目10単位

学校経営と学校図書館 2

学校図書館メディアの構成 2

学習指導と学校図書館 2

読書と豊かな人間性 2

情報メディアの活用 2

所属は文芸科に司書教諭課程があったが、

所属が昭和47年一般教育となり石黒先生「主

任教授」、その後、一般教育の改組で文芸科

に菅原が配置され、現在に至っている。担当

者昭和38年より司書教諭でスタート、担当者

は非常勤2名

深川恒喜 図書館1 [東京学芸大学教授 武蔵

野女子大学教授 死去]

北嶋武彦 図書館学2 [図書館短期大学教授 大

正大学教授]

石黒宗吉先生 図書館学概論他 [元国立国会

図書館司書監 昭和47年本学教授 死去]

司書・司書教諭課程同時履修の申請、認可

長倉美恵子先生 学校図書館通論他 [国立国

語研究所・図書館短期大学助手 東京学芸大学教授

現在 実践女子大学教授

椎野正之先生 学校図書館通論 [都立高校司

書教諭 弘前大学・大正大学教授 死去]

坂本一郎教授 青少年の読書と資料 [児童科

教授 元東京学芸大学：歴任 読書指導・読書心理の

権威者]

岡田明先生 青少年の読書と資料 [元児童科

教授]

荒牧富美江先生 マスコミ研究 [文芸科教授]

(図書館学の選択科目)

服部金太郎先生 図書分類法他 [図書館短期

大学・大正大学教授 死去]

高山正也教授 図書館資料論 [現在慶応義塾大

学教授 日本図書館協会図書館学部会長]

三輪真木子先生 図書館資料論 [目録テキス

トに出てきた「サーチャアの時代」の著者]

京藤松子先生 参考業務、同演習 [アメリカ

文化センター]

黒木務先生 参考業務論 [図書館短期大学 政

府刊行物概説の著書で有名 死去]

依田有弘先生 社会教育

畑潤先生 社会教育

新保敦子先生 社会教育

中西尚道先生 マスコミ研究

浜崎廣先生 マスコミ研究 [情報学部非常勤]

四方由美先生 マスコミニュケーション論

(図書館学の選択科目)

安部益先生 情報サービスマシナリー [聖徳大学教

授]

荻昌朗先生 情報管理 [元NHK資料室]

平塚禅定先生 学校図書館 生涯学習論 児

童サービスマシナリー

天野哲雄先生 図書館経営論 [元神奈川県立図

書館部長]

小林年春先生 情報検索演習 [本学図書館職

員]

中村保彦先生 資料特論 [本学図書館職員]

太田信宏先生 情報機器論 [英語英文科]

菅原春雄先生 図書館概論他

授業内容

資料目録法ではNCR 65年版・新版予備版

でカード目録の作成100枚提出。資料分

類法ではNDCの理解(0-9まで)。参

考業務論演習では安部先生から演習課題に

対して図書館等で調べて発表したことなど

思い出されるでしょう。

* 卒業生の方どの科目・どの先生に教わ

ったのですか？

図書館見学

他大学では図書館実習なる科目で教育実習

のように、各図書館へ2週間ぐらい派遣して

いるが、本学では図書館実習の代わりに図書

館見学は図書館学の授業の一環として、年2

回(春・秋)実施していた。主な図書館見学

場所は次のようなどころでした。

国立国会図書館・都立中央図書館・NHK



NHK データ資料部



旧日本科学技術情報センター

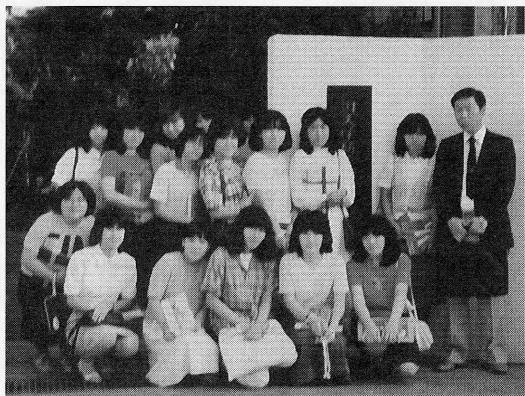
資料センター(データ情報部)・国立公文書館・国文学研究資料館・東京学芸大学図書館・大田区図書館

しかし茅ヶ崎校舎に移転後は受講生も多く、都内への移動も大変なことなど、またどの図書館も人数も多く見学許可が下りなかったため中止した。

就職

石黒先生はよく図書館のアルバイトを勧め

た。とくに夏休みに学生から希望をとって希望館へ依頼の文書・電話で紹介してもらい実習をかねたアルバイトで、学生にとっても大変好評を得た。就職もなかなかかむずかしいが、過去図書館に就職した人を菅原の記憶でみる。石川友子(旧広沢) S 53卒・狭山市立図書館を経て、市立博物館/石尾久美子 S 60卒・神奈川県立図書館/小林歩美 H 8卒・諏訪市立図書館/小林章子 S 53卒・専門図書館/木村富美子 H 3卒・いわき短期大学図



国文学研究資料館

館/長門宏子(旧吉田) S 54卒・群馬国体アナウンサー・跡見学園大学短大図書館アルバイト・日本医師会図書館/森三枝子(旧深沢) S 50卒・慶応大学日吉校舎図書館/平島智子 H 2卒・つくば市立図書館/守谷あゆ美(旧藤森) H 3卒・諏訪市立図書館/高田多美恵(旧武田) S 63卒・聖マリアンナ医科大学図書館

卒業生たちが、毎年9月旗の台校舎で芸芸科の卒業生で組織している小さな会「リテラの会」でお会いする卒業生たち(図書館学を取っていた人たち)は、いつも私に在学中は他の専門科目と同時に図書館学を勉強した時のことを話します。5時間目もあり図書館学のレポート「参考業務」やカード100枚提出など苦労したと言う。ある卒業生は、レファレンスは会社でも大変役に立った。国立国会図書館もひとりで行って調べてきた。疑問とか調査では、図書館や調査機関へ行く習慣があった、といっていた。よって卒業生から在學生へ在学中図書館学を取って良かったと、ぜひ後輩の文芸科・現代文化学科志望の學生に司書・司書教諭、情報処理士の資格を取ってほしいともいっていた。

おわりに

文芸科の名称が2000年4月から現代文学科と改称するが、これも時代。社会のニーズに対応していかなければ、大学短大の存在も危うくなってくるのだから、前進のみである。

ところで明るい話、平成12年度から越谷校舎教育学部に司書教諭課程が開設され、教育学部生および人間科学部、文学部の学生は科目等履修生で受講できる。学校図書館における司書教諭の配置義務が平成15年4月から施行されるに伴い、司書教諭資格取得者が今後ますます増えると思う。また、編入してからでもその資格が取得できる道がある。

〔参考〕 本学図書館学課程20年のあゆみ／

菅原春雄「文教大学女子短期部研究紀

要」NO36 1992・12

司書・司書教諭取得者数

卒業年度	司 書				司 書 教 諭			
	文 芸	英語英文	家政	計	文 芸	英語英文	家政	計
昭和48	50	18		68	不明			14
昭和49	53	31		84	0	0		0
昭和50	58	25		83	3	1		4
昭和51	71	31		102	0	0		0
昭和52	81	31		112	14	4		18
昭和53	54	37		91	11	1		12
昭和54	63	38		101	14	5		19
昭和55	68	30		98	7	2		9
昭和56	74	37		111	15	3		18
昭和57	57	17		74	6	4		10
昭和58	66	22		88	21	4		25
昭和59	44	13		57	5	0		5
昭和60	35	17		52	6	0		6
昭和61	126	20		146	19	0		19
昭和62	107	12		119	20	4		24
昭和63	116	6		122	18	0		18
昭和 1	107	14		121	21	1		22
昭和 2	79	20		99	6	2		8
昭和 3	84	13		97	3	1		4
昭和 4	122	24		146	6	0		6
昭和 5	99	14		113	7	1		8
昭和 6	93	14		107	2	0		2
昭和 7	105	8		113	7	0		7
昭和 8	92	7		99	5	0		5
昭和 9	62	15		77	10	2		12
昭和10	67	3	12	82	6	0	0	6
合計	2033	517	12	2562	232	35		267
								2829